



笑って いつまでも元気に

おたのしみバラエティショー

65歳以上を対象とした敬老事業「おたのしみバラエティショー」は9月15日、文化センターで開催されました。

岡本町長が歌う町のイメージソング「まさき色の風」で幕を開けたステージは、西高柳出身、桂三幸さんの司会で進められ、町内演芸名人がさまざまな演芸を披露しました。

ショーの最後には、テレビでおなじみの酒井くにお・とおるさんが漫才を披露。会場には、参加した372人の元気に笑い声が響いていました。

①岡本町長と伊予民踊研究会の皆さんによるオープニング ②漫才を披露



幻想的な伝統行事

大間地区「火流し」「灯籠流し」

大間地区の有明橋付近で伝統行事「火流し」「灯籠流し」が行われ、地区住民をはじめ多くの見物客が訪れました。

火流しは、8月14日、子どもたちが板の上に乘せたわらに火を付け、川の中を引っ張ることで祖先の霊を迎え、翌15日、同様にして霊を送る行事です。一方、灯籠流しは8月25日、灯籠を川辺に浮かべ、祖先をしのびます。双方の行事とも、川面には幻想的な風景が広がり、見物客を魅了していました。

①一つ一つ丁寧に浮かべた灯籠流し ②勢いよく燃える火流し



24時間でつなぐチャリティーの輪

24時間チャリティースポーツカーニバル MASAKI

町スポーツ協会主催「24時間チャリティースポーツカーニバル MASAKI」は8月25、26の両日、松前公園などで行われました。

同イベントは、日本テレビの24時間テレビ「愛は地球を救う」に賛同して行われているものです。今年はバレーボールや野球など計19種目を24時間つなぐ形で実施。参加者は、スポーツと募金を通じ、チャリティーの輪を広げました。イベントで集まった募金17万6,928円は、同テレビへ寄付されました。



イメージソングを芸術作品に

額書「まさき色の風」寄贈贈呈式

額書「まさき色の風」寄贈贈呈式は9月3日、役場で行われ、愛媛女流書家連盟会長の藤岡抱玉さん＝北黒田＝が額書「まさき色の風」を寄贈しました。

この額書は、町のイメージソング「まさき色の風」の完成を大変うれしく思った藤岡さんが、歌詞を書にしたためた芸術作品です。藤岡さんは「この書を見て、たくさんの人たちにイメージソングを口ずさんでほしい」と話していました。この額書は、役場3階エレベーター横に設置していますので、ぜひご覧ください。



戦没者の冥福を祈って

戦没者追悼式

町主催の「戦没者追悼式」は8月29日、文化センターで行われ、遺族や団体の代表者などが参列しました。

式辞で、岡本町長は「世界の恒久平和を願うとともに、松前町が心安らぐふるさとでありつづけるよう取り組みたい」とあいさつ。さらに、遺族を代表して麻生英毅さん＝昌農内＝が「戦争を二度と繰り返させない責任がある」と訴えました。その後、参列者は献花し、犠牲者の冥福を祈りました。



サイクリングで観光ガイド

第3回松前町観光ガイド養成講座

松前町観光ガイドボランティアグループ「はんぎり」は8月25日、レンタサイクルを活用した町内観光を実現しようと、自転車コースガイド体験を行いました。

体験では、「まさきーいいところ見つけ隊」が企画したコースを周遊。自転車で親水公園や塩屋海岸などを巡りながら、町内の自然、歴史や文化などの魅力を再認識していました。



町内全体でいじめの防止を

松前町いじめSTOP子ども会議

「松前町いじめSTOP子ども会議」は8月24日、文化センターで行われ、町内小中学校と伊予高校の児童生徒代表者21人が参加しました。

会議では、各校の代表者がいじめの防止に向けた取り組みを発表した後、高校生がリーダーとなって意見交換を実施。参加した子どもたちは、活発に意見を出し合い、いじめ防止への意識を高めていました。



5R探検隊が環境保全を学ぶ

松前町子ども環境学園2018

「松前町子ども環境学園2018」の小中学生33人が参加する5R探検隊は8月17日、松山市のダイキアックスと金城産業を訪問しました。

工場では、バイオディーゼル燃料の製造過程や不要となった家電などが資源としてリサイクルされる過程を見学。参加した子どもたちは、リサイクルへの意識を高め、環境保全の大切さをしっかりと学んでいました。